



## 『心不全リスク検査(NT-proBNP血液検査)について』

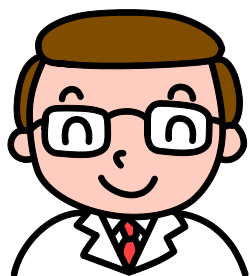
---

現在日本では心不全の患者が増えており、心疾患による死亡率増加の原因となっています。NT-proBNP(ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント)は、心臓から分泌されるホルモンです。心臓に負担がかかった状態(心不全)になると、大量に分泌されます。このホルモンの量を測定することによって、心不全の重症度がわかります。(血液検査)

心不全は、狭心症や心筋梗塞、不整脈、弁膜症など心臓の働きが低下する可能性のある疾患に生じやすく、肺または身体に血液がうっ滞し、労作時の息切れや呼吸困難、顔や足のむくみが出現する状態です。

しかし、心不全はゆっくり進行する場合があります、その場合心不全の症状が出にくいことがあります。また、高血圧、糖尿病などの生活習慣病は、心臓に負担がかかる恐れがあり、心不全予備軍といえます。

NT-proBNP検査を受けると、心不全の重症度が数字で分かるため、自覚症状のない心不全の早期発見、早期治療に役立ちます。



厚生連健康管理センター  
健診医療科部長  
吉 福 士 郎